



把手セット

取付け説明書

■梱包明細

※取付け前に必ず梱包内容をご覧ください。

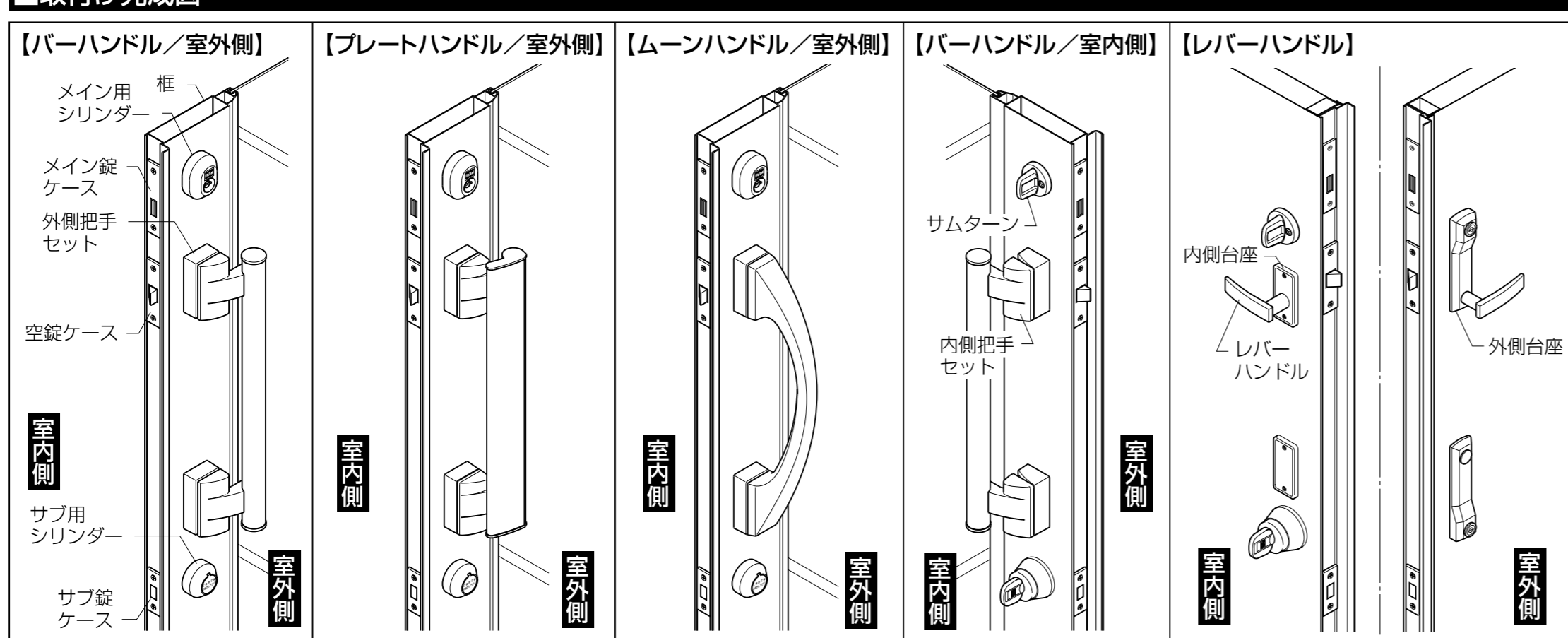
■把手セット

名称	入数	詳細
外側把手セット	1 個	
内側把手セット	1 個	皿小ねじ(レバーハンドルの場合トラス小ねじM5×20) M5×30/4本
錠ケースセット	1セット	メイン錠ケース/1個、サブ錠ケース/1個、空錠ケース/1個、皿タッピンねじM4×12/6本、皿小ねじM4×16/6本(断熱ドア使用のとき)
シリンダーセット	1セット	シリンダーユニット(メイン・サブ)/各1個、サムターン、トラス小ねじM5×45/2本 内側台座カバー/2個(室内ムーンハンドルの場合ねじカバー/2個)、皿小ねじM4×14/4本(室内ムーンハンドルの場合のみ)
セキュリティサムターンセット	1セット	セキュリティサムターンユニット/1個、サムターンキー/2本、サムターン座/1個、皿小ねじM5×70/2本
錠セット	1セット	オーナーキー/1本、子鍵/4本、工事用キー(コンストラクションキー)/3本
取付け説明書	1 枚	
お施主さま用取扱説明書	1 冊	袋入り

■固定把手セット

名称	入数	詳細
外側把手セット	1 個	
内側把手セット	1 個	皿小ねじM5×30/4本、皿小ねじM4×14/4本(室内ムーンハンドルの場合のみ)
内側台座カバー	2 個	(室内ムーンハンドルの場合ねじカバー/2個)

■取付け完成図



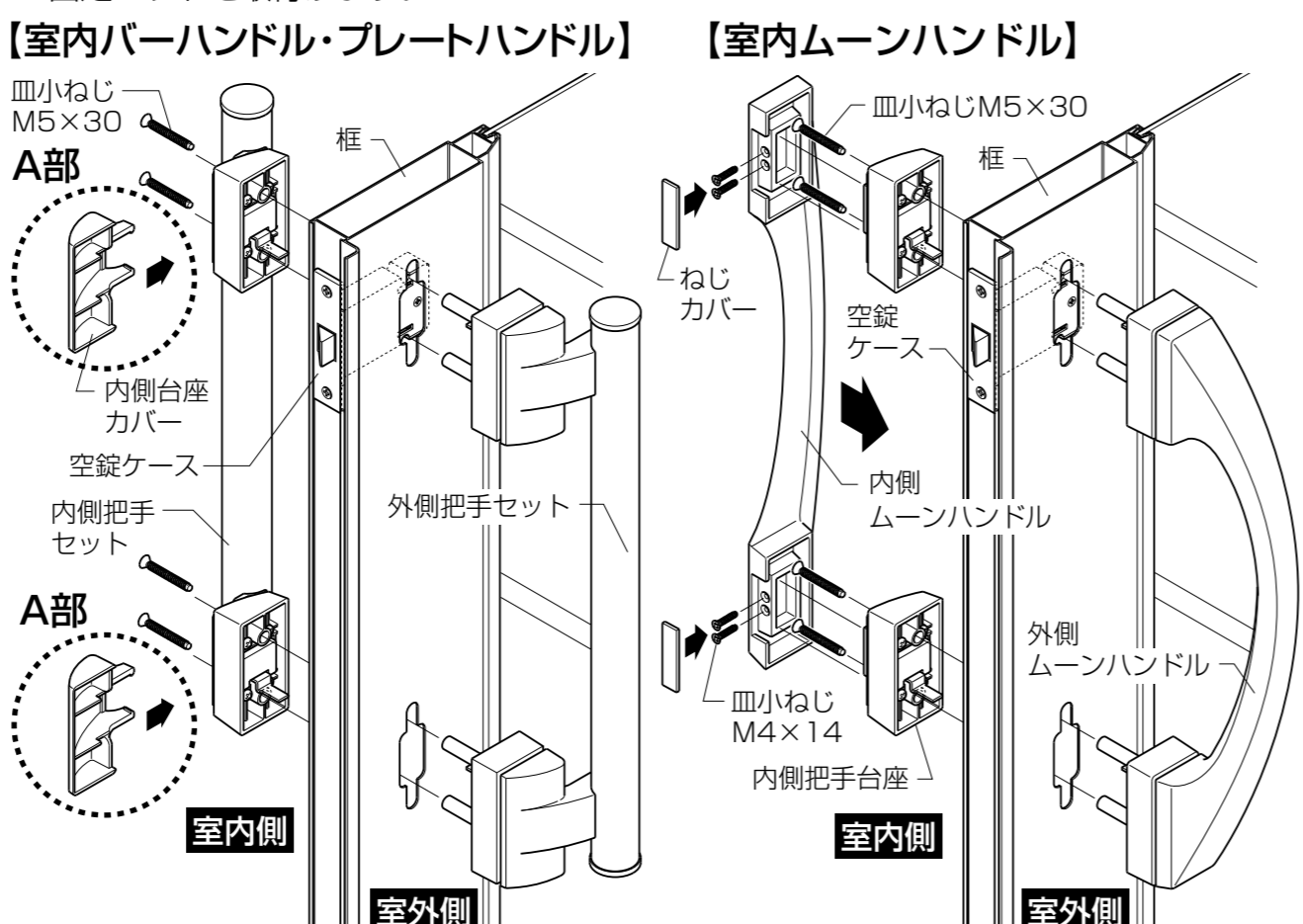
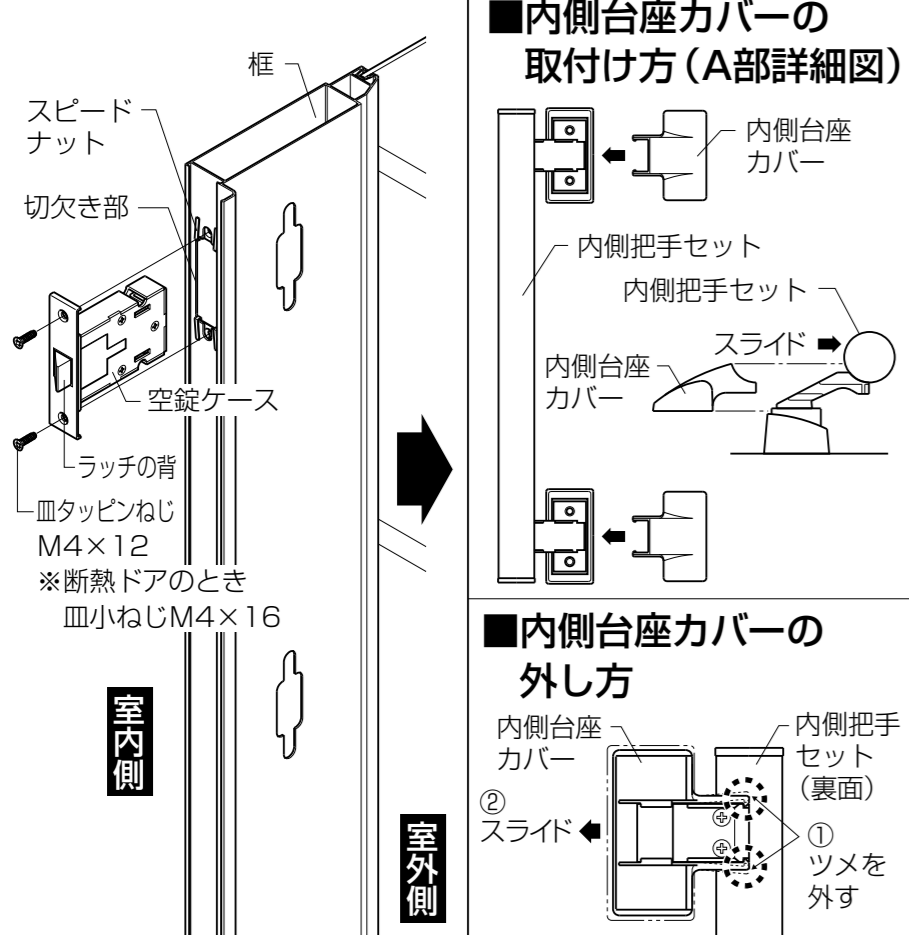
■把手の取付け

■室内バーハンドル・プレートハンドルの場合

- ①ラッチの背を室外側に向け、皿タッピンねじで框に空錠ケースを取付けます。
- ②外側把手セットを室外側から差し込みます。
- ③内側把手セットを皿小ねじで取付けます。
- ④内側台座カバーを内側把手セットに取付けます。両開き子扉には、上記②・③・④の手順で固定セットを取付けます。

■室内ムーンハンドルの場合

- ①ラッチの背を室内側に向け、皿タッピンねじで框に空錠ケースを取付けます。
- ②外側把手セットを室外側から差し込みます。
- ③内側把手台座を皿小ねじで固定します。
- ④内側把手台座の突起部分に室内ムーンハンドルを差し込みます。
- ⑤内側把手台座と室内ムーンハンドルを戸先側から皿小ねじで固定します。
- ⑥ねじカバーを室内ムーンハンドルに取付けます。両開き子扉には、上記②～⑥の手順で固定セットを取付けます。

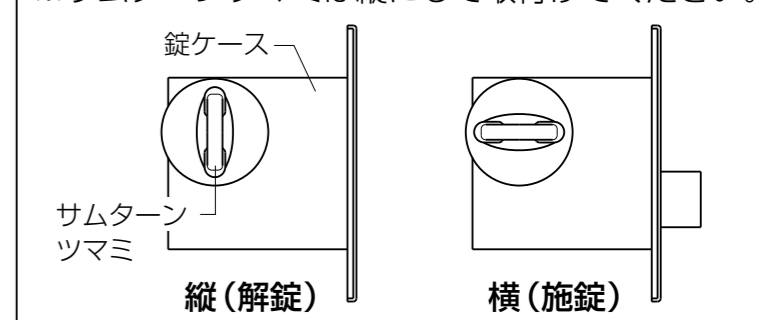


■メイン錠ケース及びサブ錠ケースの取付け

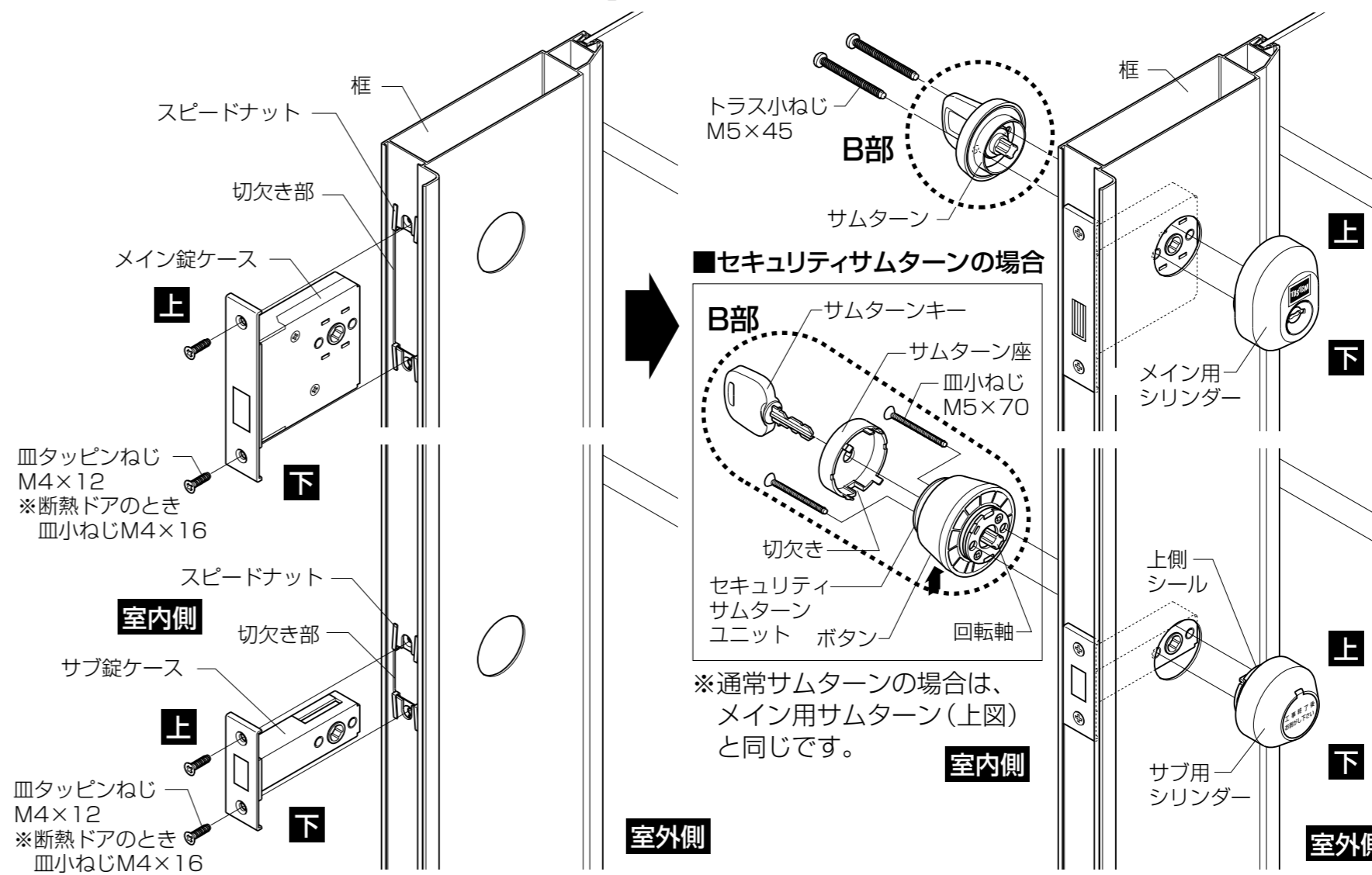
- ①皿タッピンねじでメイン錠ケースを取付けます。
 - ②皿タッピンねじでサブ錠ケースを取付けます。
 - ③メイン用シリンダー(大きい方)のTOSTEMマークを上に向けます。
 - ④メイン用シリンダーの出っ張り(4カ所)を、メイン錠ケースの角穴に合わせて差し込みます。
 - ⑤サムターンをトラス小ねじでメイン用シリンダーに取付けます。
 - ⑥サブ用シリンダー(小さい方)の上側シールを上に向けます。
 - ⑦サブ用シリンダーの出っ張り(4カ所)を、サブ錠ケースの角穴に合わせて差し込みます。
 - ⑧セキュリティサムターンユニットの回転軸を、ダルマの向きに合わせて垂直にし、皿小ねじでサブ用シリンダーに取付けます。
 - ⑨サムターン座の切欠きを、セキュリティサムターンユニットのボタンの向きに合わせてはめ込みます。
 - ⑩ボタンを上押ししながら、サムターンキーを差し込みます。(ボタンが戻るとサムターンキーは抜けなくなります。)
- ※メイン錠ケース・サブ錠ケースは、「TOSTEMマーク」を上にして取付けてください。

■サムターンツマミの操作(Ｂ部詳細図)

※サムターンツマミは縦にして取付けてください。

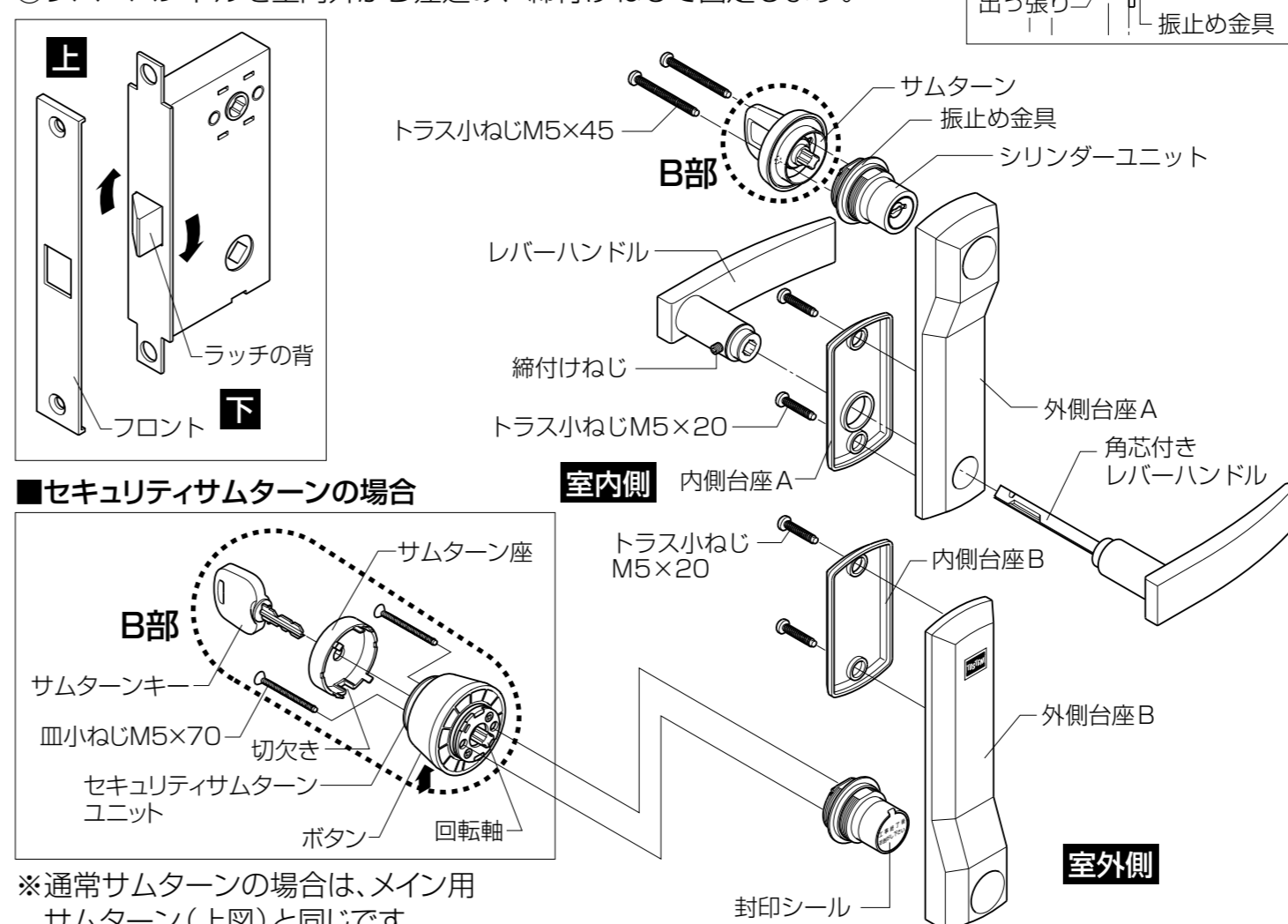
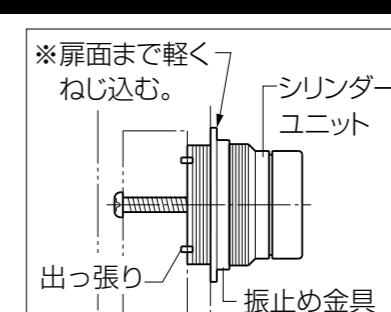


- メイン用シリンダーの取付けについては、把手セット内の取付け説明書をご覧ください。
- 同梱の注意ラベルを、サムターン座の下に張ってください。



■レバーハンドルタイプ

- ①フロントを外し、ラッチを回転させてラッチの背を室外側に向けます。
- ②シリンダーユニットの振止め金具を左に回して緩めます。(右図参照)
- ③サムターンをトラス小ねじでシリンダーユニットに取付けます。
- ④外側台座を室外側から差し込みます。
- ⑤内側台座をトラス小ねじで外側台座に取付けます。
- ⑥レバーハンドルを室内外から差し込み、締付けねじで固定します。



■コンストラクション装置について

- メインロックには、コンストラクション装置が組込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後お施主さま専用のキーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以後はコンストラクションキーでは開閉できなくなります。
- サブロックには、コンストラクション装置が組込まれていないため、封印シールが張ってあります。施工後、シールをはがし作動を確認した後、お施主さまにお引渡してください。

